

果樹生育情報 6月号

令和5年6月20日
栗原農業改良普及センター

〈りんごの生育状況等〉

表1 生育状況(6月9日調査)

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	29.0	33.8	30.8
	平年(mm)	28.6	29.2	28.6
	平年比(%)	101.5	115.9	107.5
ヨコ径	本年(mm)	29.2	33.5	32.2
	平年(mm)	27.3	27.0	26.1
	平年比(%)	107.0	124.1	123.2

6月10日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、107~124%(ヨコ径)と平年を上回っています。

4月の降霜により被害を受けた樹においては、さび果などの被害果を全て摘果すると着果量不足になるおそれがありますので、着果量が不足しそうな場合には、果実の摘果を調整して、樹勢のバランスを崩さないようにしましょう。

〈病害虫発生状況〉

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第4号(令和5年6月12日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	やや多い	・巡回調査の結果、発生地点率は平年よりやや高く、発病葉率は平年並であった。(/ ± ~ +) ・定点調査ほ(品種「ふじ」)の新梢における発病葉率は、6月上旬以降、平年並で推移している。(/ ±) ・高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量はほぼ平年並と予報されている。(/ ±)
モモシクイガ	やや多い	・前年の発生量が平年よりやや多かったことから、越冬量は平年よりやや多いと推測される。(/ +) ・20~25°Cの気温が成虫の産卵に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ ± ~ +)

病虫害名	発生量	予報の根拠
キンモンホソガ	やや多い	・巡回調査の結果、発生地点率及び被害葉率は平年より高かった。(/ +) ・20～25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ ± ~ +)

管内では目立った病虫害は確認されていませんが、仙台管区气象台による向こう1か月(6月17日から7月16日)の天候予報によると、『暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、かなり高くなる見込みです。週別では、第1週が低気圧や前線の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、第2週以降は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。』との予報が出ています。

6月11日に梅雨入りが発表されました。病虫害の好適発生条件である「高温多湿」が続く予報が出ていますので、前述の病虫害発生状況を参考にしながら各自園地を観察し、適時適切な防除を心がけましょう。また、散布間隔を開けないよう防除を徹底しましょう。

天気予報を確認し、散布予定日が降雨の時は、前日等に散布を繰り上げる「雨前散布」を心がけましょう。

凍霜害により着果負担が少ない樹は新梢の止まりが悪く、徒長しやすくなりますので、スピードスプレーヤの防除では低速による全列走行とし、薬液のかかりにくい部分は、補完散布をしましょう。

農薬危害防止運動実施中！

宮城県では、6月1日から8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適正使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

- ① 周辺環境や近隣住民に配慮しましょう
- ② 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- ③ 使用・販売する農薬の農薬登録を確認しましょう
- ④ 土壌くん蒸剤(クロルピクリン剤等)の取扱いに注意しましょう
- ⑤ 農薬の容器を移し替えたりせず、鍵のかかる場所に保管しましょう
- ⑥ 農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう